

記録者 職氏名 健康福祉課 技師 高橋 真紗子

平成24年度美里町健康づくり推進協議会並びに美里町食育推進会議

会議録

開催年月日	平成25年3月22日(金)
開催の場所	さるびあ館 二階研修室
開催時間	18時30分～20時30分
出席委員	高橋 文一委員、齋藤 亮一委員、佐藤 千恵委員、 佐々木 洋子委員、 穴戸三千孝委員、伊藤 恵子委員、 松田 彰洋委員
欠席委員	玉手 英一委員、袖井 文二委員、渡邊 新美委員、
出席した職員	佐々木功悦町長、渋谷芳和課長、 菊地知代子、伊藤八重子、日野とも子、 及川 沙希、伊藤 恵、高橋真紗子 千枝則夫分室長、佐藤直子、佐々木早苗、 千葉 雅子、佐々木史絵

会議の経過

渋谷課長	<p>本日は、年度末のお忙しい中、委員の皆様のご出席いただきましてありがとうございます。只今から平成24年度美里町健康づくり推進協議会並びに美里町食育推進会議を開催いたします。開催に当たりまして町長からご挨拶申し上げます。</p>
佐々木町長	<p>年度末の何かとお忙しいところ、本日は美里町健康づくり推進協議会並びに美里町食育推進会議にご出席を賜りましてありがとうございます。町民の健康づくりのために、それぞれの立場からご支援・ご協力を頂きまして、改めて感謝を申し上げます。今、美里町は人口2万5千300人位のところを前後しています。昨年9月位までは人口がどんどん減っていました。亡くなる方が月平均約35人、生まれる方が平均して月15人位、自然減だけでも20人位という現状になっていました。自然減は今も同じ状況になっていますが、昨年9月あたりから、美里町への転入がありここ5か月ほど人口が増に転移しています。高齢化率は28%位になっているのが状況です。今は100才を超える方が毎年のように何人かおられて、現在、町内には16人おられます。比較的なみなさん元気で普通の生活をしており、高齢者の方々を見習うべき点がたくさんあるなと会うたびに感じております。</p> <p>今、町では新年度に向けて町づくりをどうしていくかということについて、町長としての方針を述べながら、各種事業の計画・予算を議会で審議を頂いております。審議の中で、事業調書などに改めて目を通すと、健康づくり等に対し感じるところは、県のみやぎ21健康プランの中ではがん検診の受診率を70%以上を目標とするということがありますが、わが町は残念ながら一部の肺がん等のぞいて、受診率14%または20%代という結果になっています。わが町だけでなく、他の市町村でも同様であるかもしれませんが、他は他としてしっかりと受け止めていかなければならないと思っております。死亡原因の大きなところは、がんであり死亡者が多いのも事実です。受診率を上げていくためにも、皆さんと一緒に受診率を上げていくためにどうしたらよいかということ、検討していかなければいけないと考えております。</p> <p>町民のみなさんが、元気で健康に生活が続けられるように、それが私たちの仕事ということ、改めて認識しながら、町民の健康づくりのために頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p>

	<p>ます。</p> <p>本日は 24 年度における実績報告、25 年度の新たな保健事業計画等をご審議・ご協議いただき、皆様のご意見・ご要望等を頂きながら、実りの多い会議になりますよう心からお願い申し上げまして、開会にあたってのあいさつとさせていただきます。</p> <p>本日はよろしく申し上げます。</p>
渋谷課長	<p>それでは、審議事項に移らせていただきます。条例では健康づくり推進協議会並びに食育推進会議、どちらの会も会長が議長となっておりますので、会長の高橋先生よろしくおねがいします。</p>
高橋会長	<p>貴重な時間ですので、始めさせていただきます。</p> <p>議事録署名員及び書記の選出ということですが、こちらから指名させていただきますいてもよろしいですか。</p>
全委員	<p>了解の返事あり</p>
高橋会長	<p>議事録署名員には、斎藤委員さんと穴戸委員さん、書記には高橋保健師をお願いしたいと思います。</p> <p>審議事項に入らせていただきます。美里町健康づくり推進協議会から始めさせていただきます。美里町健康増進計画に基づく平成 24 年度保健事業報告 平成 25 年度保健事業計画(案)が関連しているため、2 項目を続けて報告していただきたいと思います。</p>
菊地	<p>事前に配布した資料をご覧くださいと思います。</p> <p>始めに、資料 1 をご覧ください。健康増進計画それぞれ 6 つの重点項目につきまして、大目標・小目標としまして具体的取組みをまとめたものを一覧にしております。平成 24 年度も重点項目につきまして、目標・具体的取組内容にならいまして進めてまいりました。</p> <p>24 年度の事業は数値でまとめられるものは、資料 1 にまとめております。資料 2 に重点項目についてまとめさせていただきましたので、各担当から報告させていただきます。</p>
各担当者	<p>【栄養・食生活】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育推進事業 ・食育サポーター養成事業 食育サポーター活動支援 <p>【身体活動・運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診結果個別相談会 <p>【歯の健康】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民歯科ボランティア養成講座事業「歯みがきセミナー」 ・乳幼児歯科健診事業 <p>【心の健康づくり】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・心の健康づくり事業 【タバコ・アルコール】 ・健康づくり推進事業(たばこ・アルコール) 【生活習慣病】 ・がん検診受診率向上事業 ・特定健診・健康診査事業～重症化予防の取組
菊地	<p>資料 1.2 に基づいて、大枠の説明をさせていただきました。続きまして資料 3 をご覧ください。生活習慣病のがん検診受診率の増加の項目の 22 年度の現状値ですが、冊子で渡した一覧表の数値を県の地域保健報告のものに、数値を置き換えしてあります。栄養食生活の主食・主菜副菜をそろえて食べる小学生の割合が若干減少しておりますが、アンケートの取り方などの変化もありますので、今後の変化をみていきたいと思っております。朝食の欠食者の割合は、ずっと結果が横ばいであったところですが、数値が上がっているように見えますが、ここも今後見ていきたいと思います。身体活動の 2 歳児の外で遊ぶ児の割合の部分は、23 年度は若干減少しています。震災後のせい、保護者への呼びかけをしていきたい。生活習慣病では、健診の受診率については、結果として数値が上向きなものがなく残念でした。胃がんについては、特に 60 歳未満の方の受診率が 10% いかないの、受診率増の結果に結びつかない原因になっているのではないかと思います。子宮がんについても、若年者の受診率が伸び悩んでいるため、受診率の増加につながらない傾向となっております。町の現状を踏まえての計画として、重点項目についてお伝えしました。</p> <p>前回の健康づくり協議会でもご意見をいただいたように、計画の町民への周知については、広報を活用しながら月シリーズで健康増進計画について、重点項目ごと掲載したいと思っております。</p> <p>以下、平成 25 年度保健事業計画の重点取組内容について資料に沿って説明。</p>
高橋会長	気づいた点等ありましたらよろしく申し上げます。
齋藤委員	行政で計画を立てて、成功するかしないかは家庭の実施にかかっていると思えます。学校でも歯磨きやインフルエンザなど指導しているが、家庭までなかなか入らないのが現状です。保護者の意識などの実態は数値として表れているのですか。
菊地	地区に入りながらの健康教室で感じることは、参加していただける

	<p>方は 60 代以降の方が多くなっているのでその年齢層は、健康づくりにも意識を持って聞いていただき、自分なりに取り組んでいるところも多いですが、働き盛りになると、自分の体よりも仕事などが優先になっています。その意識付けは、こちらとしてもどうしたらよいかというところが実際の感覚です。</p>
齋藤委員	<p>働き盛りのお父さん・お母さんは、こちらとしても大変で、学校も同じです。そこがうまく機能すればよいのですが。</p> <p>食育と肥満の関係では、中学 1 年生の小学校から入学してきた生徒をみると肥満が多いです。家で食生活は充実しているが、運動等でエネルギーを発散する機会が少ないのではないかと考えております。中学 1 年生の県のスポーツテストの結果も悪いですが、中学で部活をしていてだんだん運動量が上がってくるという感じです。肥満解消・生活改善が、幼稚園・小学生に必要なのかなと感じています。</p>
高橋会長	<p>私もその辺りは大事だと思っています。役場もぜひその辺りはいい情報をとって、一体となってどのような方法で指導していったらよいかということを考えていけたらよいと思います。</p>
佐々木委員	<p>食生活改善で幼稚園・小学生・中学生・各行政区など、食生活改善について町民の実態と結びつけて話し、小学生や中学生はよく分かってくれる。授業の感想やシリーズが終了したときの感想を見ると自分たちが伝えたい意図がしっかりと伝わっている。しかし、実際に作るのは両親で両親へは私らの思いが届いていない。両親も、生活習慣病など食事がどうあるべきかがわかっていないわけではないと思いますが、いざ作るとなると忙しい、忙しいとなる。</p> <p>中学生で、朝食はバターロールのみでソーセージもあれば食べると言っている生徒もいます。このように、いろいろな方法で伝えていても実際の食卓には届いていないのです。</p> <p>町で講習を開いても受けられない、届いてほしい年齢にはこちらの思いが届いていない、私たち周りが一生懸命しても届かないもどかしさがあります。具体的に 1 年に 1 回だけでもどうしたらよいか考えています。1 つ考えてみたのですが、標語のようなもので台所に貼れるようなものをあげたらいくらかでも意識づけられ、具体的に行動化させられないかなと思っています。一番、子供の両親世代が行動化できていないと感じます。</p>
高橋会長	<p>会議あるごとにいい言葉を頂きますが、実践化となると難しいものもあるかと思っています。まだ長い目標年度があるので、一つ一つ工夫していけたらよいと思いますので、よろしく願います。</p>

菊地	私たちとしても難しいと感じているところではありますが、手始めとして、受健率が 90%以上である乳幼児健診の時に、保護者に向けて自分たちのことに関してPRをしていこうと考えています。地道な活動にはなりそうですが、みなさんから良い手立てがありましたらご提案いただければと思っています。
高橋会長	急に数値として上がらなくも良いので、今一つの案を提案して頂きましたので、みなさんで知恵を出し合ってより良い計画にしていいただければと思います。
宍戸委員	前に、健康まつりという町で行っていた事業があったと思うのですが、それは今でもやっていますか。
菊地	今は 2 年ほどおやすみしている状況で、今はこころの健康づくりということで町民向けの講演をしております。
宍戸委員	前に、講師をお願いしたりして食育や運動教室をしていたと思いますので、そういうのを町民のみなさんとできたら良いなと思います。そういった大きなものも必要なのかなと思います。
佐藤委員	特定健診の受診者への運動教室を実施していくということですが、働き盛りの世代にどうやって参加していただけるかというのが大きな課題だと思います。そこは何か考えていますか。
菊地	夜間にやったら良いのか、土曜日が良いのか等具体的なところは今後、スタッフや運動指導士の方と話し合って決めていこうと思っています。特定健診は夜間であれば、若い人の受診率も高いのでそのあたりも含めて今後詰めていく予定です。
佐藤委員	先日研修会で、若い人たちに参加してもらうためにどうしたら良いかというものがありませんでした。そこで事例として、託児を設けたら一気に若いお母さん方の参加があったということですので、考えていただけたらどうかと思いました。
齋藤委員	働き盛り世代の人たちは、本来自分たちがしなければいけないことを他に頼っていると思います。 今、核家族化が進む中で、おじいさん・おばあさんと一緒に生活したり関わる機会が減っています。ただ、高齢者は間違いなく増えています。その高齢者と集まって、話し合ったりして知恵をもらえる場が必要なのではないかと感じています。
菊地	世代間交流のようなものですか。
齋藤委員	そうですね。その中で、課題を共有しておじいさん・おばあさんの知恵を下に流していくということが、必要なのではないかと感じてい

	ます。子育てに関して等、本来家でしなければいけないことが、学校がしなければいけなくなっているのが現状です。
菊地	検討課題にしていきたいと思います。
高橋会長	今、テーマを決めて集まるにしても、興味も多様化しているので、それをいかにしていくかということが必要なのかと感じています。全世代を何とかしようとするのは難しいのではないかと感じています。 しかし、そろそろいい計画が出てもいいのではないかと思います。美里町の場合、計画の期間が長いので、そこを活用して行ってほしいと思います。
伊藤委員	若年層への普及啓発はとても良いなと思っています。食育は子供よりも若いお母さんたちにするのが大事だと思うので、子供の行事の時に食の大切さ等を伝えられれば良いのかなと思っていました。今、昭和 30 年代の食事にしようというのがあるので、昔の食事は食の原点だと思うので、年配者と交流があれば食育にも良いのかなと思っていました。
松田委員	終わったことはこれで良いと思います。これまでの受診率があるのだから、25 年度をどうしていくか担当者に一人任せにせずみなさんで本気で考えていかなければいければ、受診率等はアップしていかないと思います。 今は見る人は限られていると思うので、内部で検討していかないといけないと思います。手を変え品を変え、町民の心に近づいていくようなひと工夫を考えていかなければいけないと思います。
高橋会長	それでは、食育の話も少し出ていたところですが、次の食育推進会議に移ります。
伊藤恵	資料 5.6.7 に沿って概要説明
高橋会長	何か気づいた点はありますか。
齋藤委員	震災後、要保護・準要保護がとも増えたが、アンケート結果で震災前と震災後で何か大きく変化があったことはありますか。
伊藤恵	大きく変わった部分は、見つけられませんでした。
佐々木 早苗	先生の方で、食に関して変わったと感じることはありますか。
齋藤委員	震災後の要保護が増えたということは、生活が厳しいのだと思います。その中で、結果が変わらないのは素晴らしいことだとは思いますが、現状は実際変わっていると思います。
高橋会長	アンケートの取り方というのは、朝食をとったではなく何を食べたのかを書くようお願いしたい。そこをきちんととらなければ、何か一

	口食べても食べたと回答しているのではないですか。内容をもっと精査していかなければいけないと思います。何を基準にして朝食を食べたとするのかをはっきりとさせる必要があると思います。
齋藤委員	アンケートの結果に頼られ、これで大丈夫と言われると次の対策に結びついていかないのです。実態把握をしてほしい。
高橋会長	似たような表面結果が出ていても、内容が全く変わっていることもあるので心配です。一度情報交換をすべきだと思います。 他のアンケートについてもですが、比べるもの・基準になるものがないとアンケートをとっても意味のないような気がします。県や他の市町村と比べるなりしたほうが良いと思います。今回の資料も県のデータと比べようとするが、比べられませんでした。少しずつ違っているんです。そのため、アンケートの内容も精査してほしいと思います。何を基準にしたらよいのか、この町のレベルが分かりません。
齋藤委員	その辺りがどうなのかを佐藤委員さんに聞いてみたいです。
佐藤委員	基本計画は、地域特性に合わせて作っていただいているので、市町村によって異なるのが現状です。
高橋会長	それでは県では、その中でアンケートの項目等をピックアップしてまとめているのですか。
佐藤委員	そうですね。
高橋会長	国や県では、ひな形となる様式などを提示しているのかなと思っていましたが、県のものとは違うなと思ったので、独自性があるのであれば良いのですが、独自性をもとにしてぜひ良い結果を出してほしいと思います。 農業体験なども、県ではパーセントとしてでてきているが、美里町ではパーセントでていません。学校ごとでは出ているが、その後の集大成みたいなものがない。この町がどのくらいなのかが分かりません。 また、小・中学校でとっているアンケートはせっかくなのだから、地区ごとの具体的なパーセントを出してほしいと思います。
佐藤委員	全生徒にアンケートを取るのには、どこでもできることではないのですばらしいなと思っていました。年次推移として見ることができるので、きちんと評価はできると思います。貴重なデータだと思います。相対的にみると改善されているとみえますよね。
伊藤 恵	そう感じています。
齋藤委員	震災後に改善されているのは素晴らしい。

菊地	学校現場で、早寝・早起き・朝ごはんが周知されているので、だいぶ定着してきたというのが結果だと思います。今後は、中身の部分についてが、取組課題なのかなと感じています。
齋藤委員	1か月に1回朝食のデータを教育委員会に出しているのですが、教育委員会からはデータはきているのですか。
伊藤恵	きていません。
齋藤委員	ぜひ、教育委員会からもらって学校の実態をわかってもらいたいです。1か月に1回報告しているので自分の学校分だけは把握していますが、全体的というのは、そちらで把握しているものだと思うので、ぜひそのデータも活用してほしいです。自分の学校分はわかりますが、他の学校がどうなのかななどは分からないところがあります。
菊地	今回の資料では、全体のデータとして示しているが、アンケート自体は各校ずつに集計していて結果は学校や教育委員会に返しています。また、こちらとしても各地区ごとにデータを出しています。
高橋会長	適正体重の維持に努めましょうと書いているが、県では肥満傾向児の出現率を出している。適正体重の維持に努めましょうと表現は、自分がちょうどよいと思っている体重に近いと思う、というのはデータとしてとれるのでしょうか。県では男子・女子でパーセントを出している。誰がみてもそうだなと思えるよう、もう一工夫してほしい。 貴重な校長先生の意見を活かしていかなければいけないと思います。
伊藤委員	24年度の取組の中に南三陸中を対象にした農業体験などありますが、感想文とかはとっているのですか。 ただやるだけでなく感想文等があるといいなと思いました。ひとりひとりが、いろいろなことを書いてくれたことがありましたので。
伊藤恵	健康福祉課で実施している親子料理教室などではアンケートとはいかないが、感想は言ってもらったりして意見を吸い上げ来年度につなげていけるようにしています。 各地区での栄養教室では来年度から、伝えたいところが伝わっているのかなというアンケートはとっていきたいと考えているところでした。
伊藤委員	アンケートとはまた別に、一人一人のやったことに対する感想は必要なのかなと思いました。
高橋会長	学校でやることは、役場で把握するのは難しいかと思いますが、各小学校での農業体験についても、県では90%以上のデータの結果になっています。しかし、美里町ではデータとしてみることができな

	いので、そういった意味でも比べ易い、対応できるデータをとっていただければいいなと思います。
伊藤恵	農業体験の米作りに関しては、全小学校で行っておりますので実施率としては 100%です。
高橋会長	それでは、100%ということで数値として挙げていただきたいです。毎年 100%でいくようであれば素晴らしいと思います。ぜひ、数値として判読できるようにお願いしたいです。
佐藤委員	健康増進計画になりますが、みやぎ 21 健康プランの第 2 次計画が来年度から 33 年度までスタートします。栄養・食生活と運動とタバコの 3 つを重点的に今後進めていきますのでよろしくお願ひします。都道府県・市町村での健康格差を少しでも縮めていこうというところで、いろんな地町村のランキングを出させていただきます。4 月以降に出ますので見ていただき参考にしてください。 宮城県で行っている塩エコの資料を持ってきたので、ご覧ください。宮城県では脳血管の死亡率もワーストに入っておりますので、みなさんのご協力をお願いいたします。
高橋会長	食育推進会議はこれで閉めさせていただきます。
菊地	来年度も、もう少し具体的なところでしっかり取り組んでき今後の実施計画についてはまたみなさんにご審議いただきながら、資料のあり方も少しずつ工夫していきたいと思ひます。
渋谷課長	それでは以上をもちまして平成 24 年度美里町健康づくり推進協議会並びに美里町食育推進会議を終了させていただきます。

会議の経過を記載して、相違ないことを証するためここに署名する。

平成 年 月 日

署名委員 _____ 印

署名委員 _____ 印

議 長 _____ 印